

島根大学山陰研究ブックレット
刊行記念シンポジウム

ともに考えよう 三江線沿線の これから



島根大学山陰研究ブックレット『三江線の過去・現在・未来』の発刊を記念して、シンポジウム「ともに考える三江線沿線地域の未来」を開催します。

ブックレット執筆者によるショート報告をもとに、三江線廃線をめぐるとのこれまでの動きを総括し、そこから教訓をどうくみとるのか、さらに、今後の地域の未来をどのように展望していけるのか、地域のみなさんと

ともに考える機会としたいと思います。

2017. **6.24**
(土)

14:00 ~ 16:00

JR三江線のダイヤに合わせた開催時間となっております。
ぜひJR三江線「石見川本駅」をご利用の上、ご来場ください。

**悠邑ふるさと会館
マルチホール**

島根県邑智郡川本町大字川本 332 番地 15

第一部：三江線沿線・江の川流域の歴史と固有価値をめぐって

田中義昭 (元・島根大学教授)

第二部：三江線廃線問題をめぐるとの動きとその教訓を探る

関 耕平 (島根大学法文学部 准教授)・岡崎勝彦 (愛知学院大学 教授・島根大学名誉教授)
有田恭二 (元・川本町観光協会 嘱託職員)

第三部：今後の公共交通と地域の再生をどう展望するか

飯野公央 (島根大学法文学部 准教授)・政森 進 (三次市観光協会 専務理事)
保母武彦 (島根大学名誉教授)

会場からの発言

大迫幸人 氏 (前・川本町商工会 事務局長)

主催：島根大学法文学部山陰研究センター

共催：島根大学地域未来戦略センター

後援：広島県、江津市、川本町、邑南町、美郷町、安芸高田市、三次市、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、中国新聞社

【問い合わせ先】島根大学法文学部山陰研究センター

電話：0852-32-9833 / メール：admin-src@soc.shimane-u.ac.jp